

報恩講 2019



12月	時 刻	ごん 勤 行 名	法 話 等	とき お齋=食事(用意)
5日(木)	13:00	しょ 初 たい 遅 や 夜	かめ い ひろし 亀井 鑛 師	
	19:00	しょ 初 や ごんぎょう 夜 勤 行	ごでんしよう 御伝鈔/映画	
6日(金)	9:30	しょ 初 につ ちゅう 日 中	ほん だ まさ と 本多 雅人 師	ほんぜん 本膳料理(12:00)
	13:00	ちゅう たい や 中 遅 夜		もちかえり 持帰弁当(15:30)
	19:00	音 楽 法 要 すずきのやすひと&めぐ	沖縄民謡演奏	ほんぜん 本膳料理(18:20) ※来賓用にご用意
7日(土)	9:30	ちゅう につ ちゅう 中 日 中	ふじわら ち か こ 藤原千佳子師	ほんぜん 本膳料理(12:00)
	13:00	おお たい や 大 遅 夜		もちかえり 持帰弁当(15:30)
	17:00	子ども報恩講 人形劇団	副 住 職 すずきじゅく	おにぎり &豚汁 (17:45)
8日(日)	9:30	けちがんにつちゅう がく 結願日中(楽)	うめ やま まさ き 榎山正樹 師	もちかえり 持帰弁当(12:00)

◆ 同朋会館の受付でお斎券（本膳用か弁当用）をお受け取り下さい
◆ お斎（法話後の食事）は拙寺特製精進料理をご用意しております
◆ お斎は、金曜・土曜のお昼は本膳仕立か持帰弁当仕立のどちらかをお選び頂き、金曜・土曜の午後と日曜は持帰弁当仕立のみとなります
◆ お勤め用に『本龍寺報恩講大谷派声明集』の販売・貸出を致します

昭和42年、滋賀県長浜市樹徳寺生まれ。大谷大学卒業。稻沢市・教西寺住職。准堂衆。樂僧がくそう（龍笛りゆうべき）。

人形劇団「夢知遊座」人形劇研究所
「鈴木塾」で8年間研鑽・卒業した
女性3名のアマチュア人形劇団。

昭和17年桑名市生まれ。石川県淨秀寺前坊守。義祖父が藤原鉄乗師。

すずきのさんは半田市の音楽療法士
・介護福祉士。めぐさんは堀内町在
住で「五一会」という四弦楽器の弾き
語り演者。お二人で沖縄民謡系の歌
と霧岡氣をお届けします。

ハーフスパンの杜】他

昭和35年、東京都生まれ。中央大学文学部卒業。元高校教諭。東京都葛飾区・蓮光寺住職。著書『人間というものの舟』他。

昭和4年名古屋市生まれ。愛知商業学校卒業。本山『同朋新聞』元編集委員。NHK「いじいろの時代」元司会者。

ご講師の紹介

私がまだ小さかつた頃、本龍寺は閑散としていました。お宮さんにはたくさん人が行くのに、お寺のお彼岸も報恩講も、ひとつそりとしていました。

京都から嫁いできた母は、気骨なところがついて、「負けてなるものか」的に歯を食いしばっていました。

のり付けして回りました。米沢英雄先生との出遇いも、本龍寺に大きな変革をもたらしました。それまでの「勿体ない、有り難い」お説教が、生活に根ざした生きた法話に変わりました。

評判の先生の情報が入ると、母は先乗りしてお話を伺い、これぞと思つた先生はどんなに遠方からでもお寺に呼びました。



何十枚も並べて母が一人で盛り付けをしていた姿が、今も目にしつかりと焼き付いています。

お正月は、今でこそ修正会(じゆうかい)にたくさんのお参りを頂きますが、自分が子どもの頃は父と二人で役員さん宅を訪ねて、新年の挨拶とお香を配つていました。

法要の案内は、父が毛筆で手書きしたわら半紙を、町内の電柱に

そんなこんなで気がつくと、人の集まるお寺になつていきました。「お寺って変わるんだ！」私をして、そう言い切れる背景に、先代の住職と坊守が確かに恭んでいた道理を見たのでした。

この度の本堂建設が成就したことは、建設委員さんのご尽力と檀信徒方のご理解ご協力のたまものであることは、言を俟ちません。ただ、ここに至るまでの歴史をつぶさに見て来た自分にとって、本堂建立は、本龍寺に生まれた目的の一つだとも感じています。

ほんとが造られました。父は、あと残るは本堂という時期の62歳で還浄しました。母の頑張りで法話会が充実し、いろんな組織が出来て、お寺の行事が賑やかになりました。どんどん変わっていくお寺を、子ども心にも嬉しく眩しく見つめていました。

いう目的を達成するためには、どの時代、どの国、どの場所、どの両親の元に生まれたらいいのかを熟慮して、菩薩方に報告している場面です。人は目的を持つて生まれ、そのために最も適した親を選ぶというのです。

私の生まれた頃の本龍寺は、明治期の大きな本堂が三河地震で倒壊した後の仮御堂で、手狭ながらも工夫して諸行事を行つていまし

台を提供・開放していきます。マルシェの開催、キッチンカーの導入、そして家族形態が変わつていく中での新しい墓地形態の提案一。新本堂を念佛の道場にしていくため、まだまだやるべきことがたくさんあります。「これからが、これまでを決める」。御遠忌法要が終わつて、いよいよ次のスケジュールへの歩みが始まります。

年忌法要は、新本堂で読経、テ
ーブルとイスを常設した同朋会館
でお斎。食事の手伝いには安城シ
ルバーさんが来てくれます。

新本堂は、内陣前の折戸を閉め
れば、ちょっとしたステージにな
ります。今年の報恩講・音楽法要
では、沖縄民謡系バンドの演奏が
あります。これを機に、一芸に秀
でた方の発表の場として、本堂舞

けでは完成と言えず、活用するシステムと、喜んで使って下さる人がいないと成就しません。

新本堂になってから、ほとんど
の葬儀はお寺で行っています。し
ED特殊照明の御本尊・内陣をバ
ックに葬儀飾りを用意。祭壇を使
わないで格安で利用できること
と、町内で勤めるためお参りが平
均約3割も増えることが喜ばれて
います。
ねんき

伝統的で厳粛 本堂葬儀のご案内 多くの人でお見送り



※写真は当家の了解を得て
掲載しております

◎葬儀飾り … 一般でいう祭壇は用いません。本堂 莊嚴の厳粛さを生かし、本来の浄土真宗で用いた
のじよく みつぐそく けそく 野卓（机 + 三具足 + 華束）と 六丁（6本の灯火）をご用意。祭壇を使わないので格段に
おごそ 費用が抑えられ、且つ伝統的で厳かな雰囲気の通夜・葬儀を行うことができます。

◎収容人数 … 椅子席 最大250席、収容 最大300人。少人数にも対応できます。

◎駐車場 … 約100台完備 ※境内 約30台、第1駐車場約20台、第2・3駐車場約50台

◎使用料 … 本堂（通夜・葬儀）+ 同朋会館（休憩・お食事・宿泊）

使用場所	使用区分	金額	参考（安城市総合斎苑の場合）
本堂 同朋会館 (一括)	通夜 葬儀～還骨勤行（初七日） ※休憩・宿泊込み	50,000円 ※葬儀飾りの一式を含む	洋式場 約6.2万円 ※待合室4時間使用を含む 祭壇費 約30万円 ※安城の一般的祭壇の場合

※使用料には、本堂・同朋会館・葬儀飾り一式の使用すべてが含まれます（お布団も用意できます）

※御布施（導師・役僧）や葬儀社への支払い（お棺・枕飾り一式・靈柩車・食事など）は別途です

※和泉町内の他檀家の方、町外の一般の方も使用できますが、通夜・葬儀には本龍寺住職、もしくはそれと同等の真宗大谷派僧侶がお立ち会いをします

※和泉町内の他檀家の方の使用料は 70,000円、町外の一般の方の使用料は 100,000円です

◎協力葬儀社 … 梅本葬祭

TEL.0566-74-2235

※写真左・中 … 兵藤希明氏の
通夜と出棺の様子

四生堂

TEL.0566-76-2575

※写真下 … 同朋会館はイス・
テーブル72席を完備
宿泊も出来ます

J A 葬祭（JAあいち中央）

TEL.0566-74-1330

イズモ葬祭（安城 貴賓館）

TEL.0566-79-0011





行事写真報告

御新本堂完成後
主立つた行事の後
御遠忌以降





本龍寺の奥座敷は、昭和43年1月に安城市から譲り受けたものです。この建物が、天皇即位の礼に関わった歴史を持っていたことが分かり、この度の大改修に至りました。

大正4年、大正天皇御即位礼に際し、悠紀齊田が六ツ美村に定められます。同年9月20日、抜穂式が行われ勅使の参向が示された折、安城町は町役場構内（以前、更生病院のあつたところ）に貴賓室を設定して勅使の齊館としました。この建物は今回調べで、安城の街にあつた明治期の料亭「海月」を移築・改修したものだと判明。その後、勅使門とともに本龍寺にやって來たのでした。

なお、改修事業は拙寺檀家でありMC三河設計代表取締役、石川博氏のご尽力であることを申し添えます。また、生まれ変わった奥座敷を「青龍閣」と命名しました。



天井板 = 屋久杉浮造仕上げ



天袋戸板 = 神代杉浮造仕上



化粧庇杁 = 黒柿〈金輪継ぎ〉



オリジナル両表面格子腰付猫間障子



ガルバリウム鋼板外壁 ねじり格子窓枠



障子腰板 = 櫻〈玉杅〉



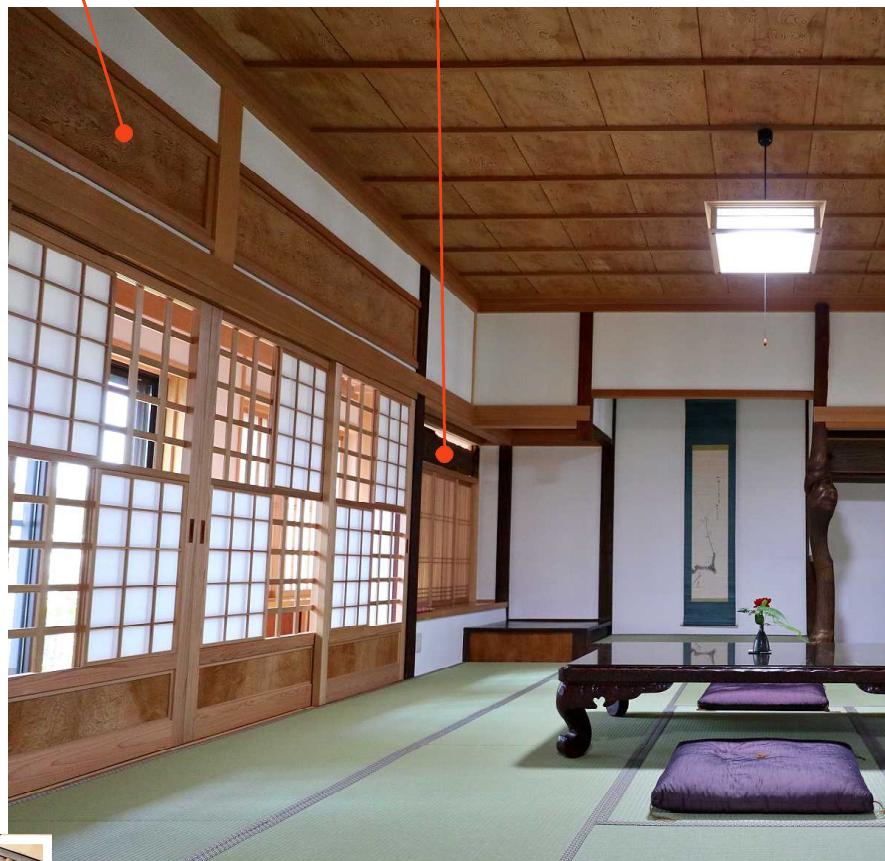
らんま やくすぎうづくりしあげ ほうおうすじあげ
南欄間 = 屋久杉浮造仕上・鳳凰透かし仕上



ひろえん のじいたよしのすぎ
広縁化粧野地板 = 吉野杉
ひろえんいたけやき
広縁板 = 45mm厚 檜
こうりょう
※前々本堂 虹梁材
やといざねくわ
雇実 = 桑



でしょいんらんまじんだいすぎ
出書院欄間 = 神代杉



基礎ベース = ピッチ100mmダブル配筋
ベース厚150mm生コンクリベタ打
基礎梁 = 既存梁にケミカルアンカー108本打込
幅150mm高200mm鉄筋コンクリ増設補強
ホールダウン15本設置



ぬえんけやきこうりょう
濡れ縁 = 45mm厚 檜 ※前々本堂 虹梁材



役員さん任期満了
お疲れさまでした

■第29代同朋婦人会■ 会長 梅名恵子 副会長 梅名立子 会計 石川美野里 会計 梅名鶴子
会計 都築雅子 会計 兵藤幸子 神谷恵美子 早川眞知子 稲垣月代 早川由利子 早川芳子
兵藤由香里 梅名寿恵 兵藤和子 梅名喜代美 杉浦やつみ 都築はつゑ 早川美春



■甘日会■ 会長 梅名恵子 副会長 梅名玲子
会計 早川嘉子 会計 都築香里 早川さゆり
杉浦なみ子 早川和代 石川一枝 梅本初実



■正信会■ 会長 梅名光江 副会長 梅名美津江
会計 梅名文子 会計 梅名加代子 久津名節子
早川雅子 加藤佐代子 三浦美江子 山口明美



■みどりの会■
会長 神谷みよ子 副会長 神本絹代



■恵信尼会III■ < 同朋婦人会から通算8年間お世話になりました！>
会長 神谷和子 副会長 梅名真寿美 会計 三浦朝子
会計 梅本奈加子 会計 梅名記代 会計 早川鈴子 <敬称略>



■根育ての会■
代表 大美豊美 代表 兵藤和美

あ
さ
と
が
く
ま
ん
な
い
る
き
の
本
堂
に
な
っ
た
こ
と
を
つ
く
づ
く
有
り
難
く
思
い
ま
す。
(類)

お届け致
します。

お盆や年忌法要時に
あれこれを自慢して
いる姿を見せて頂き
みんなの本堂になつた
ことをつくづく有り
難く思います。(類)

病床の窓に一人の遠花火
偶さかに母に似顔の秋の雲
早川道久

日向ぼこ逝きし貴女の居場所あり
ひなた
早川道久

萩の声遺影の同朋は美しき
と
梅名美津江

別れ花うもれし君は秋の精
早川美春

秋悲し千羽の鶴と空はるか
早川美春

野良猫の門出切なき彼岸花
桶口頼子

本堂で汗光らせてコーラス隊
桶口頼子

美粹

桶口頼子

本龍俳壇

お寺や仏事に
ちなんだ歌を
お寄せ下さい